

令和８年度「適性をみる検査」について

京都府立洛北高等学校附属中学校

１ 出題の基本方針

- (１) 適性をみる検査は、小学校学習指導要領に即した範囲の総合問題とする。
- (２) 小学校学習指導要領に示された各教科の観点や学習内容を基に、基本的な知識内容の理解や技能の習得の程度、思考力、判断力、表現力、創造力等、児童の多様な能力や適性をみる。
- (３) 資料や図表、解説文等を用いて、文章や図表、数式等による記述の課題を設ける。その中で、さまざまな観察や考察、分析を行い、知識や技能を総合的に活用して考え、判断し、自分の考えを的確に表現できるかをみる。

２ 出題の概要

(１) 適性をみる検査Ⅰ

- ア 提示された文章について、筆者の考えを的確に読み取り、内容及び表現や言葉の意味・用法等について正確に理解し、要約するなどの作業を行う。
- イ 提示された課題に対して、自分の考えを的確にまとめ、文章で表現する。

(２) 適性をみる検査Ⅱ

- ア 図表やグラフ、資料等を的確に読み取り、社会的事象及び自然の事物や現象の特徴を把握し、科学的・論理的な思考に基づいて課題解決に向けた考察等を行う。
- イ 社会的な見方や考え方、科学的な見方や考え方などを基に、課題に対して多面的・多角的に考え、判断し、適切に表現する。

(３) 適性をみる検査Ⅲ

- ア 数量や図形に関する課題に対し、見通しをもち筋道を立てて分析や考察を行う。
- イ 課題解決に当たり、合理的・論理的な思考により、式や計算を用いて課題を的確に処理するとともに、文章や図表、数式等で表現する。